

ガレージで楽しむ  
わが家の日曜日

「やっぱり、やみそうもないわね」

今日のドライブを中止させた雨が

てるてる坊主を揺らす窓辺から振り返ると、

さっきまでいた夫と息子の姿が見えない。

笑い声を手がかりにガレージをのぞくと、

夫は工具を片手にエンジンチェック中。

「これがラジエター、これがバッテリー」

背伸びして覗き込む息子の瞳が輝いている。

空気の汚れを教えてくれるセンサーは、

2人の夢中を応援する強力な味方。

「自分で手入れをすると、

運転の仕方も変わってくるよ」

というのが夫の持論。

私たちの憧れだったこの車が

わが家にやってきてから、もう10年。

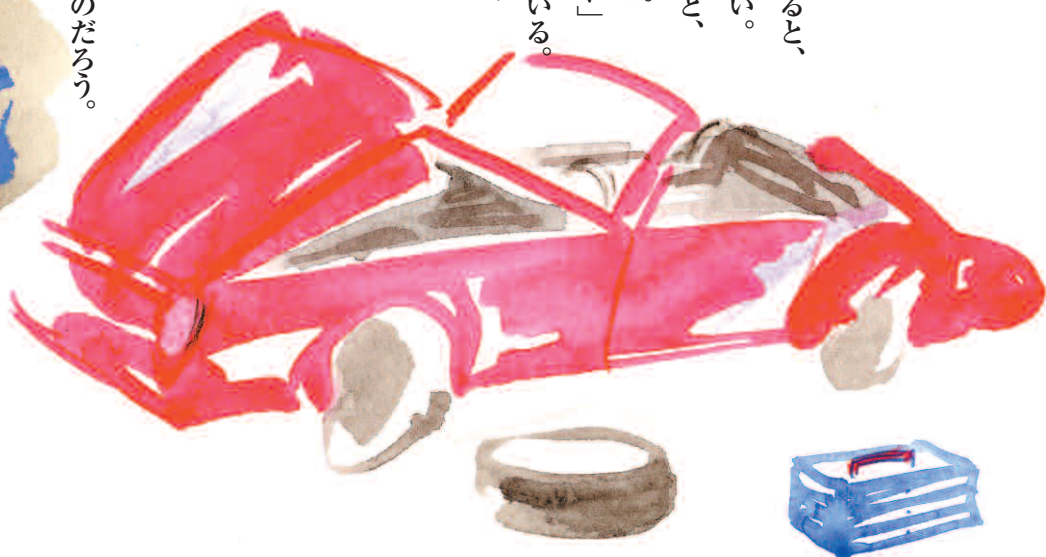
こんな楽しい時間を重ねながら、

小さな息子も優しいドライバーに育つのだろう。

外は雨。ガレージの中はいつも晴れ。

そうだ、早起きして作ったピクニックランチは

ここでいただくことにしよう。



# Garage Life は Eco Life

ガレージライフ エコライフ

## ガレージの「安心」がさらにアップ

ガレージをサーキット・ピットのようにして、車の手入れや簡単な整備を自分の手で——と考える車好きは多いようです。それは、エンジンなどの汚れやタイヤの老化などが原因となる環境汚染を防ぐためにも、今、必要なことかもしれません。

一方、エンジンチェックやタイヤ交換、そして洗車まで、時がたつのも忘れるほどの楽しさの中で気がつきにくいのが、排気ガス中に含まれる一酸化炭素濃度の上昇。三和シャッターの「ガレージ用一酸化炭素警報器」は、ガレージ内の一酸化炭素の上昇を、音声で知らせる国内初のセンサー。一酸化炭素濃度が上昇すると、音声で換気を促し、さらに上昇すると警報となって繰り返されます。また、シャッターと連動する仕様を選択すれば、音声や警報で知らせるだけでなく、自動的にシャッターが全開。いずれも濃度が下がると音声（警報）は停止します。



安全性のレベルアップは、家族が車と向き合う時間を増やし、ガレージライフをエコライフにつないでいくことでしよう。



絵/竹内雅枝